

2016年1月15日(金) ハコラク2月号 掲載

ドクターコラム『病院歯科のいま』

歯科口腔外科 辻 司 科長

ドクターコラム

2 [歯科]

みなさんは、「病院歯科」についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。大抵の方は「病院の中にある歯科」「入院患者さんの歯の治療を行うところ」などなど、一般歯科医院との違いについては、あまりよくわからないのではないでしょう。確かにこれまでの病院歯科は特別な施設を除き、一般歯科医院との役割の違いにそれほど大きな差はありませんでした。しかし近年の少子・高齢化社会の到来に伴い、歯科の分野において

みなさんは、「病院歯科」についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。大抵の方は「病院の中にある歯科」「入院患者さんの歯の治療を行うところ」などなど、一般歯科医院との違いについては、

「病院歯科のいま」



も疾病構造の変化や国の政策によって、病院歯科の種類、役割がより一層明確になってきております。つまり現在の病院歯科を大まかに分けると、①大学付属病院に代表されるような、3次医療の高次歯科医療を担う病院歯科のタイプ、②地方都市の中核病院のようないくつかのタイプに分けられます。従いまして、おのずとそれらの機能、役割にはそれぞれ異なった専門性、特異性があります。特に2次医療を扱う病院の歯科では、2次歯科医療の提供を原則として、かかりつけ歯科医院の後方支援など病診連携の役割や、医科歯科連携つまり歯科と医科の架け橋としての役割、さらに3次歯科医療機関との連携と、多岐にわたる役割があります。

それではもし、ご自身、ご家族が歯科を受診する場合は、どのような手順を踏めば良いのでしょうか。それには、まずかかりつけ歯科を持つことが第一です。大半はそこで治療が完結すると考えられますが、さらに高次の歯科医療機関への受診が必要となつた場合には、かかりつけ歯科医が作成した紹介状をもとに、上述の機能に応じた段階的な医療の流れに沿って、適切な医療が受けられると思われます。



函館中央病院

函館市本町33-2 ☎0138-52-1231(代) <http://www.chubyou.com/>

診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科、皮膚科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科など全22科目
受付時間／8:30～11:30・13:30～16:00※土曜は午前のみ。診療科や時間帯によっては要予約。
休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)

函館中央病院
歯科口腔外科

辻 司
科長

[略歴]

昭和63年、城西歯科大学歯学部卒業。同年、札幌医科大学医学部口腔外科学講座入局。平成4年より函館中央病院歯科口腔外科へ勤務し、平成16年に同科科長就任。医学博士。日本口腔外科学会専門医・指導医、日本口腔診断学会認定医・指導医・評議員、日本口唇口蓋裂協会組織委員。第4回日本口腔外科学会学術奨励賞受賞。平成20年より毎年、インドネシア共和国における口唇・口蓋裂治療のボランティア活動に参加している。